

3. 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)	
安定供給体制の整備推進	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等整備	■■■■■	①コンテナ苗生産基盤施設等 ①コンテナ苗生産資材 ②コンテナ苗生産施設装置等 ②生産資材 ③動力噴霧器 ③冠水設備 ③フォークリフト ③育苗防草シート ③抜き苗 ③生分解性バイオポット ③35穴トレイ ③かごトレイ0-02 ③コンテナ培土	平成30年度	コンテナ苗の生産量 (千本)	50	100	150	200	250	上段:計画
						- → 250	50				中段:実績	
						100%						下段:達成率
						国庫補助相当額に(円/本)					38	上段:計画
						0 → 38						中段:実績
												下段:達成率
安定供給体制の整備推進	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等整備	■■■■■	①コンテナ苗生産基盤施設等 ①コンテナ苗生産資材 ②コンテナ苗生産施設装置等 ②生産資材 ③育苗施設(ビニールハウスほか) ③散水装置 ③コンテナ容器 ③肥料	平成30年度	コンテナ苗生産量増加量(桧) (千本)	50	50	70	70	70	上段:計画
						30 → 70	40				中段:実績	
						57%						下段:達成率
						コンテナ苗生産量増加量(杉) (千本)						上段:計画
						0 → 30	0	10	10	20	30	中段:実績
						100%						下段:達成率
						コンテナ苗生産量増加率(桧) (%)	160	160	230	230	230	上段:計画
						H30を100とした場合 → 230	133					中段:実績
						58%						下段:達成率
						コンテナ苗生産量増加率(杉) (%)	0	100	100	200	300	上段:計画
						H32を100とした場合 → 300	0					中段:実績
						0%						下段:達成率

(注)

- 1 「個別指標」の欄には、事業計画に記載した個別指標及び目標値を記載すること。
- 2 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績／各年度の目標値)を記載すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの格付率又は入荷量に占めるJAS製材品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記載すること。
年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記載すること。
- 3 報告年度については、要領第6の2の(2)又は第8の3に基づくこと。
- 4 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。
- 5 木造公共建築物等の整備については、個別指標の実績のほか、以下の項目をとりまとめて併せて報告すること。
(1)要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の④に係るJAS製材品の使用量、同表の7の(2)の⑤に係る地域材及び合法伐採木材の使用量を備考欄に記入するとともに、同表の7の(2)の⑥に係る本事業において整備する施設の建設工事を行う者のうち地域材の調達に関わる者のクリーンウッド法に基づく登録実施機関への登録状況(登録番号等)を記載すること。
(2)調査初年度から目標達成年度までにおいて、要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の⑧の木材利用を通じた社会的課題解決の指標の状況をとりまとめて添付すること。
- 6 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。
- 7 林業機械(リース含む。)については、個別指標の達成状況のほか、毎年度の機械の稼働時間及び稼働日数を備考欄に記載すること。
- 8 別表1のⅠの2の「10 林業機械リース支援」の(2)の⑨の達成状況報告は、本様式により行い、施設等区分欄にはリース物件の林業機械名称を、個別指標(目標値)欄及び達成状況の目標年度欄にはリース期間満了年度の事業実施主体ごとの素材生産量及び素材生産性の計画値を記載すること。
- 9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

(2) 収支実績

単位:千円

(都道府県名) 三重県

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考	
							運用開始年度	1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)		目標年度 (令和5年度)
コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	[Redacted]	コンテナ苗生産基盤施設等	平成30年度	収入	13410	14970	14970					
					支出	13410	13502	13502					
					収支差	0	1468	1468					
					収入のうち 公的資金等								
コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	[Redacted]	コンテナ苗生産基盤施設等	平成30年度	収入	12600	7235.36	7235.36					
					支出	4629	2500	2500					
					収支差	7971	4735.36	4735.36					
					収入のうち 公的資金等								

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

ア 収支を伴う施設

- | | | | | |
|---------------|-----------------|---------------------|------------------------|----------------------|
| (1) 木材製材施設 | (6) 木材加工施設 | (11) 木材集出荷販売施設 | (16) 品質向上・物流拠点施設 | (21) コンテナ苗幼苗生産高度化施設等 |
| (2) 集成材加工施設 | (7) 木材材質高度化施設 | (12) 森林バイオマス再利用促進施設 | (17) トップ加工施設 | |
| (3) プレカット加工施設 | (8) 特用林産物生産施設 | (13) 木質エネルギー等利用促進施設 | (18) 新しい木材活用のための加工供給施設 | |
| (4) 丸棒加工施設 | (9) 特用林産物加工流通施設 | (14) 木質バイオマス供給施設 | (19) 直交集成板加工施設 | |
| (5) 杭加工施設 | (10) 廃床等活用施設 | (15) 合・単板加工施設 | (20) コンテナ苗生産基盤施設等 | |

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

イ 林業機械作業システム整備【素材生産型】により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

- 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)から(21)までを、1のイに該当する場合は機種を記載すること。
- 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記載すること。(収入の内数)
- 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記載すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記載すること。
- 「報告年度」は、要領第6の2の(2)に基づくこととし、実績を年度ごとに記載すること。
- 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記載すること。
- 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。
- 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。
- コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。